伴走プロジェクトのプロ集団　idea+

最初の1業務から始める AI導入プロジェクト

AIに任せて、任せすぎず。

ツール選びより、“最初の1業務”の決め方。

1部署 × 1業務 × 1週間で、時間が戻る実感から始める。

株式会社アイデアプラス

THE GAP / AI導入格差

大企業と中小企業で、AI導入の差はもう開いている

64.7%

大企業のAI導入率

23.7%

中小企業のAI導入率
（大企業の約1/3）

59.0%

中小企業で「導入予定なし」
——ほぼ6割

出典：ラグザス株式会社「企業のAI活用格差調査」（2026年5月25日／全国のビジネスパーソン3,000人）

「中小企業は遅れている」で終わらせると、浅い

この差は、確かに大きい。でも——

本当の壁は、AIを入れるかどうかではなく

どの仕事から任せるか、です。

INSIGHT / 二つの本音

「便利そう」は分かる。でも一歩が踏み出せない

経営者の本音

便利そうだとは感じている。

でも費用対効果が見えない。

だから全社導入の号令はかけにくい。

→ 投資の根拠がほしい

現場の本音

試せば役立ちそうだと分かる。

でも日々の仕事で手一杯。

新しいツールを学ぶ余白がない。

→ 余白と、きっかけがほしい

必要なのは、全社導入の号令ではありません。

まず、使い道を1つ 決めることです。

HOW TO CHOOSE / 選び方

最初に選ぶべき仕事には、4つの共通点がある

この4つがそろう業務から始めると、AIの効果がいちばん見えやすい。

01

毎週くり返す

02

手順がある

03

品質差が出やすい

04

担当者が地味に疲れている

EXAMPLES / 候補業務

たとえば、こんな仕事から

- ✓ 会議メモの整理
- ✓ 問い合わせ文の下書き
- ✓ 見積書の説明文
- ✓ 採用候補者への返信
- ✓ 社内マニュアルの要約

こういう仕事は、AIの効果を“見せやすい”。

BEFORE / AFTER / 変化の例

最初の1業務で、現場はこう変わる

会議メモの整理

Before

録音を聞き直し、議事録作成に毎回40分。

After

AIが下書き→人は確認に集中。15分で完了。

1回 約25分 短縮

問い合わせの下書き

Before

定型返信を毎回ゼロから。言い回しもバラつき。

After

AI下書き＋人が調整。品質が均一に。

1件 10分→3分

見積書の説明文

Before

担当の力量で分かりやすさに差。往復も多い。

After

型に沿いAIが整え、人が事実確認。

差し戻し 大幅減

※ 導入イメージを示すモデルケース（特定企業の実績ではありません）。効果は対象業務により異なります。

THE MATH / 効果の見える化

小さな短縮も、積み上がれば大きな時間に

10分	×	5人	×	5回
1作業の短縮		使う人数		週あたり

＝ 1か月で 約16時間 が現場に戻る

ここで初めて、AIが“流行語”ではなく“時間を戻す道具”になる。

4 STEPS / 進め方

やることは、難しくありません

1

1部署で1業務を選ぶ

いちばん面倒なくり返し業務を1つだけ

2

担当者を1人決める

責任を「全員」にしない。動かす人を1人

3

使う場面を1週間固定

期間と場面を区切る。広げるのは後で

4

時間と品質で見る

短縮時間と確認漏れの減少で測る

この順番なら、失敗しても傷が浅い。成功したら、次の部署に説明しやすい。

THE KEY / 鍵は納得感

導入の壁は、ツールの性能よりも「納得感」

だから最初の成果は、すごい自動化でなくていい。このくらいの実感で十分です。

- **毎週30分かかる作業が、20分で終わる**
- **確認漏れが、減る**
- **新人でも、同じ手順で作れる**

「決め方」を、一緒に決める

1

伴走プロジェクトのプロ集団

PM・ディレクション専門。「提案だけ」「ツール導入だけ」で終わらせず、現場に入って伴走します。

2

「最初の1業務」に正しく絞る

プロだからこそ小さく区切れる。1部署×1業務×1週間で、傷が浅く効果が見える設計に。

3

横展開できる「型」を残す

人が判断、AIが制作。役割分担を設計し、1業務の成功を次部署へ渡せる型にします。

AIに任せて、任せすぎ をデザインする。

PROGRAM / プロジェクト概要

最初の1業務から始めるAI導入プロジェクト

対象	従業員1〜300名規模／AIをまだ本格導入していない中小企業
進め方	①業務選定 → ②運用設計 → ③1週間の実装 → ④時間・品質で効果測定
成果物	運用手順／効果レポート（短縮時間・品質）／次部署への展開メモ
必要な体制	意思決定者1名＋対象業務の担当者1名（週数時間のご協力）
期間	最短1週間〜（選定ミーティングを含む）
費用	①AI導入研修型サービス1名40万円〜　②AIディレクター派遣サービス40万円〜契約期間3ヶ月以上
提供	株式会社アイデアプラス／オンライン対応可

FLOW / 導入の流れ

ご契約から、最初の成果まで

STEP 1
ご契約
30分／業務の棚卸し

STEP 2
業務選定
4条件で1業務を決定

STEP 3
運用設計
手順とプロンプト整備

STEP 4
1週間実装
担当1人で運用

STEP 5
効果測定
時間・品質で振り返り

成功したら、同じ型で次の部署へ。社内に“横展開できる実感”が残ります。

FAQ / よくあるご質問

よくあるご質問

Q. AIの専門知識がなくても大丈夫？

むしろ不慣れな会社こそ対象。専門用語を使わず、課題の言語化から伴走。技術者は不要です。

Q. 何から始めればいい？遅くない？

遅くありません。「何から」が分からない段階がメイン層。最初の1業務選びから一緒に。

Q. 社内で必要な体制は？

意思決定者1名＋対象業務の担当者1名。週数時間の関与で進められます。

Q. 機密情報をAIに渡して平気？

社外に出せないデータ種別を最初に確認し、機密度に応じ扱いを分けて設計。社内規則に従います。

中小企業に必要なのは、

大きなAI戦略の前に、小さな実感。

あなたの会社では、どのくり返し業務から

AIに任せますか？

無料オンライン相談（30分）

事例付き資料を請求

【連絡先 / 申込フォーム / 資料DL先URLを記載】